

特 殊 報

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿
農業資材販売等関係者

福岡県病虫害防除所長

平成17年度病虫害発生予察特殊報第4号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成17年度病虫害発生予察特殊報第4号

- 1 対象作物 シロウリ
- 2 病虫害名 病原ウイルス：M Y S V (Melon yellow spot virus)
- 3 発生地域 久留米市
- 4 特殊報の内容

(1) 初発生確認の経緯

平成17年6月、独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センターにより、久留米市のキュウリのM Y S V発生地域における感染拡大状況調査が行われ、当所も同行した。この調査で露地のシロウリが採取され、同センター地域基盤研究部病害遺伝子制御研究室でR T - P C R法によるウイルス検定が行われた結果、メロン黄化えそウイルス(M Y S V)が検出された。なお、シロウリでM Y S Vの自然感染が報告されたのは、国内で初めてである。

(2) 病徴

葉の黄化がみられるが、果実への症状はなく無病徴である(写真)。

(3) 発生生態・伝染方法等

本ウイルスはミナミキイロアザミウマによって媒介される。他のアザミウマがどの程度媒介するかは不明である。

その他の害虫による媒介、土壌伝染、種子伝染はしない。汁液伝染もほとんどないので、管理作業による伝染の可能性は低いと思われる。

(4) 寄主植物

これまでにM Y S Vの自然感染が確認されている植物

ウ リ 科：キュウリ、メロン、スイカ

これまでに接種等によりM Y S Vの感染が確認されている植物

ウ リ 科：シロウリ、トウガン、ニガウリ、ヘチマ、カボチャ

ナ ス 科：ペチュニア

ア カ ザ科：ハウレンソウ

ユウガオ科：ユウガオ

ツ ル ナ科：ツルナ

ゴ マ 科：ゴマ

ゴマノハグサ科：キンギョソウ、トレニア

5 防除上注意すべき事項

(1) 果実には病徴が現れないためシロウリへの被害はないが、M Y S Vに感染するキュウリ、メロン、スイカが栽培されている場合は、アザミウマの防除を行い感染拡大を防止する。

(2) 雑草はアザミウマ類やウイルスの発生源となる可能性があるため、ほ場内や周辺の除草を徹底する。



葉の黄化